
100万台売れる、パチスロ機をつくろう！

山本晃

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

100万台売れる、パチスロ機をつくらう！

【Nコード】

N1685I

【作者名】

山本晃

【あらすじ】

2009年9月。パチスロ界は現在5号機時代である。

犯罪や自殺者などの社会問題にパチスロが絡んだこともあり、最近のパチスロ機は中毒性や射幸心をあおる演出や出玉が禁止されている。

それに伴う、遊技人口の減少。パチンコ屋の経営難。メーカーの不振。

これらを一挙に打開すべく、
現在の規制にのっとって100万台売れるパチスロ機を、
私の独断と偏見で考えて行こうと言っコラム。

第1章 北斗の拳3をつくらう！その1

パチスロをこの上なく簡単に説明すると

メダルを入れてレバーを叩き、ストップボタンを押して7図柄が3つ揃えば大当たりするオモチャとなる。

造り込まれた「くじ引き」と言ったところだろう。

なぜ良い大人が、揃いも揃ってくじ引きに夢中になるのか。

無論、液晶画面で繰り広げられる演出などもあるだろうが、

ぶっちゃけると「金が掛かっているから」だ。

私の場合、ゲームセンターのパチスロで遊んだ時にそのことに気付いた。

まったくと言っていいほどアツくなれない上、むしろボーナスを引かないほうが安心した程だった。

「射幸心を煽る」

つまりお金をちらつかせて打ち手を夢中にし、それこそ中毒にする事がパチスロ機の成功には不可欠なのだ。

しかし今の規制では、昔のような一撃で10万円分のコインを吐き出すようなマシンは作れない。

犯罪や自殺者が出ることにパチスロが絡んでいたという過去もあったおかげで、現在のパチスロ機は、中毒性のある演出や出玉を禁止されているのだ。

そのおかげで現在のパチスロ人気は風前の灯である。

「じゃあ、今の規制でどんな台なら売れるんだろう?」

私の独断と偏見で、100万台売れそうな機種をいくつか考えてみた。

第1案

パチスロ北斗の拳3

いきなり権利やらなんやらを無視したタイプアップだが、そこはとりあえず置いといていただきたい。

まず決めなければならないのは、主人公は誰にするか?である。

前作はラオウだったので、ほかのキャラで考えてみた。

正直、トキでは大人しすぎる。通常時は座禅を組んで座っている所しかイメージできなかった。

私は北斗の拳の中では一番好きなキャラではあるので、ひいきしたい気持ちもあったのだが、

ここは真面目に100万台売れる台を考えなければ・・・という断腸の思いでボツとした。

続いて考えたのはジャギ。だがジャギではいくらかも爽やかさに欠けるだろう。

ジャギファンの人も多いようだが、それはジャギというキャラが弱く、

パチンコ、スロット共に大当たりに良く絡むため好感を持っているにすぎない(と思う)。

あくまでも私の独断と偏見のため、ジャギというキャラが心から好きだ!という方にはご容赦いただきたい。あえて言おう、ボツである。

意外と本命かもしれないのが、レイ。

なんにせよカッコイイし人気もそこそこある。

アクションも派手だし、なにより強い。これは候補としてとっておこう。

コリア、バット、リン

大穴もいいところだろう。弱くてバトルさせるのが可哀想なので、ほぼ無いといっていいだろう。

最後にケンシロウ。

いわずと知れた原作の主人公であり、4号機時代のパチスロ北斗の拳では主役をつとめ、

ギネス記録を更新するほど売れたこともある。

5号機になってからはまだ主役に抜擢されたことは無く、新鮮味もそこそこあると言える。

というワケで、ケンシロウとレイの二択にしばってみた。

二章に続く

第二章↳北斗の拳3を作ろう！その2（前書き）

メインキャラの決定。システムの決定。萌え要素の組み込み。

第二章↳北斗の拳3を作ろう！その2

思い切って主役をレイにするのも面白いが、液晶演出を考えていたら厄介な点が浮上した。

レイ自体は存在感があるキャラなのだが、その戦歴が問題だった。

強敵と呼ぶに値するほどの対戦相手が、ユダくらいしかいなかったのである。

ちなみにユダというキャラ。認知度はそこそこだがいかんせん好感度が低い。

ユダとは、レイの美しさに嫉妬しているオカマである。趣味は血化粧。

こんなのが宿敵では、やはりケンシロウ対ラオウの死闘に比べると見劣りする。

という事で主役はケンシロウでほぼ決定した。

つづいてメインシステムを考えよう。

専門用語などがあるので、パチスロが全く分からない人は飛ばし読みしてもらっても構わない。

?無限ARTとレギュラーボーナスのループによってのコイン増加がメイン。

つまりキンニクマンやガンダム3のようなシステムである。

ART中は押し順ナビに従って雑魚キャラを撃破して行き、ベルを獲得してコインを増やす。

レギュラーボーナス中の6ゲーム間で、ケンシロウ対ラオウの死闘演出を行い、

ケンシロウが敗北しなければ再度、次回ボーナスまでのARTに突入といった形である。

?通常時はチェリーやスイカなどのレア役によってARTの抽選を行う。

当選している場合は最大32Gの前兆演出を経てART発動。

通常時には高確率モードと低確率モードのふたつのモードを行き来する。

高確率モードで引いたレア子役のほうはART当選に期待が持て、中でも中段チェリーはART当選率がかなり高い激アツ子役。

上の?と?の仕様を満たせば、大ヒットした4号機時代の北斗の拳のゲーム性に限りなく近い。

今の所、4号機時代の北斗の拳を意識して作られた後続機は大コケしている。

しかし、ひどく厳しかった5号機の規制も2009年10月現在ではいくらか緩和されており、
現在ではリール制御や演出面の表現の幅が広がっている。

そのため、初期では目押しのできる中級者以上の人しか打ちこなせなかったARTシステムも

「押し順ART」を用いて初級者でも簡単に遊ぶことができるようになった。

つまり、今なら北斗の拳の後続機を出しても幅広いレベルの人に支持される可能性が高いのだ。

しかし100万台売れるパチスロとなると、これだけでは弱い。

?キーワードは「萌え要素」

2003年に発売された、スーパーブラックジャックという機種がある。

「リオ」という可愛いカジノディーラーのおねえちゃんに、私も夢中になったものである。

当時はまだパチスロは硬派な傾向にあり、萌えキャラが存在している機種も少なかった。

現在は、ツインエンジェルやら絶対衝撃など、スロキャラがアニメ化までする時代となった。

萌えスロが飽和状態になっている感もあるが、いまや萌えキャラの存在はパチスロの販売台数に
大きな影響を及ぼしているといえるだろう。

当然、これを利用しない手は無い。北斗の拳3にも是非「萌え要素」を組み込みたいと思う。

北斗の拳の世界観を壊さないようにしつつ、萌え要素も組み込むには

どうすればいいか？という難題が目の前に転がっているワケだが。

ユリア、マミア、リンの辺りにがんばってもらうしかない。

マミアはさしずめ、「シンデレレ」、ユリアは「年上おねえさん」、リンは「ロリキャラ」といったところか。

こうなると口調も変えなければならなくなってしまつのではないか・・・？

三章でつづいてく

第二章↳北斗の拳3を作ろう！その2（後書き）

少し詰め込みすぎかもしれません（笑）

萌えキャラをどうするかは、次回までにちゃんと真剣に考えときます。

第三章↳北斗の拳3をつくるじー!その3(前書き)

萌え要素を組み込むか否か。プレミアフラグを作る。

第三章↳北斗の拳3をつくるう！その3

どうしたら北斗の拳の世界観を壊さずに、萌え要素を組み込めるのだろうか？

これはかなりの難問である。

そもそも原作のタッチが劇画である以上、目だけ極端に大きかったりしたら不自然を通り越して逆に気味が悪い。

デフォルメされたキャラクターと劇画タッチのキャラクターの共存はギャグ漫画のソレであり、
純粹な北斗の拳ファンにはそっぽ向かれてしまう危険すらある。

それに何よりパチスロ機である以上、遊技している姿を不特定多数の人たちに見られるわけだから、

萌えキャラの出現する機種を打つことを気恥ずかしく思う人にとつては、

それが北斗の拳メインのタイアップ機であつたとしても打ちづらいだろう。

もはや火を見るより明らかである。

北斗の拳に萌えキャラは合わない。断念せざるをえないだろう。

・・・というか今、マミア、ユリア、リンの三人娘のいずれかに、もとから「萌え」を感じていた人に対してまず謝りたいと思った。

私の話は、この三人は萌えキャラでは無いことを大前提としていたからだ。

いままでに「ユリア萌え〜」とか言ってる人を見たことは無いが、念の為。申し訳ない。

？一撃必殺のプレミアフラグ

昨今のパチスロを見てみると、プレミア的なフラグがある。

確率は紙の様に薄いが当選すれば5000枚くらいのコインを一撃でペロリと吐き出すこともあるソレだ。

一撃ウン千枚という希望がある限り、打ち手はじゃぶじゃぶと金を使ってくれる期待が持てる。

パチンコ屋側からしたら利益を出しやすいので、メーカーへの受注も増えるだろう。

もちろん北斗の拳3にもプレミアフラグを導入しようと思うのだが、いまだかつてないほど魅力的なものにしたい。さて・・・どんなのがいいだろうか。

四章へ続く

第三章「北斗の拳」をつくるじい! その3 (後書き)

プレミアムフラグ考案中・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1685i/>

100万台売れる、パチスロ機をつくろう！

2010年10月16日00時26分発行